

保育

待機児童・超過入所の解消は緊急課題

アレルギー除去食実施に細かい補助を!

4月から保育料多子軽減拡大

札幌保育連・保育労組は3月9日、市の子育て支援部と交渉を行い、待機児童・超過入所の解消、認可保育園整備促進事業の補助金問題、公立保育園の民営化問題、認定子ども園、アレルギー除去食実施への助成、保育労働者の労働条件改善・増員などを話し合いました。父母、保育士等111人が参加、市からは子育て支援部長、担当課長などが参加しました。



子どもが多くゆっくり寝かせることができない(超過入所・待機児童解消)

【市の回答】07年度新規2カ所、06年度補正予算で150人増、270人の定員を増やす予定。一市は4月時点の待機解消だけを目指しているのではないかと批判の意見が出ました。

06年度全市待機児童推移(人)

4月	7月	10月	1月
319	374	520	713

アレルギーを持つ子を受け入れてくれる所が少なく大変(除去食への補助)

父母と保育園栄養士などから、対象児童だけでなく、アレルギー除去品目が多くなっており、調理や対応が大変になっている実例が出されました。また、アレルギーだけでなく宗教上の除去食も増えているそうです。調理の要員を増やすこと、市は10人以上除去食実施の園に補助金を出すことになっていますが、5人以上対象に、また品目数も対象にと要求が出されました。

公営分・全市超過入所の状況(人)

施設数	定員	現在数	超過数	入所率
183	16,280	18,216	1,936	111.89%

今受け持っている子の卒園時に自分は働いているだろうか(増員・労働条件)

契約で働いている若い保育士は、「今3歳児を受け持っているが、この子どもたちの卒園時に自分は働いていられるのかと考えてしまう。正職員に比べ手当もなく給与も安い。続けられなくてやめていった仲間も多い。」と実情を訴えました。



清田に認定子ども園、支援センターのために保育園を民間委譲する計画

批判が多い認定子ども園について、真栄幼稚園を「幼保連携モデル」にすることで、清田区の子育て支援センターを作るために、市のどこかの保育園を民間委譲し、その保育士を当てることも明らかになりました。

4月から、保育園児だけであった兄弟割引は、幼稚園児なども含めた多子軽減制度になることが説明されました(別紙参照)。

3.13 重税反対統一行動 各地で怒りの集会



市民会館で行なわれた道生連の札幌集会には、91人が参加しました。市税務課職員も2人来て、336件の税金申告が行なわれました。

北部集会は、北部民商が中心になって年金者組合や新婦人などと実行委員会で開催しました。業者や市民156人が参加し、政府の庶民増税・大企業減税路線に怒りが表明されました。集会後参加者は、北税務署まで「増税No!」を訴えながらデモ行進をしました。

